

市民公開講座

未病の視点より

たかが足！されど足！～自分の身は自分で守りましょう～

服部 香里

医療法人社団愛康会 小松ソフィア病院

未病って何でしょう？

「自覚症状はないけれども、検査を受けると異常数値が出た状態」「自覚症状があるのに検査では全く異常の出ない、いわゆる不定愁訴を訴える状態」

この二つをあわせて「未病」と言われております。

内科病院、足病科で、20,000回程、患者さんの足を診続けてまいりました。

未病と位置付けられる方は、少なくありません。

みなさんご存じのように、足を診て全身を知る！足は第二の心臓！と言われます。

足の不調を訴え来院された方の多くは、足そのものに問題はなく、全身の関節機能障害、筋疾患、背骨の歪みからくる筋緊張、骨盤のズレが原因で片方の足に痛みが出て、それを庇う為に、もう一方の足に負担が来る・・・

更に、体全体が歪み、腰痛、膝痛、最後に足背、足底が痛む・・・そんな負のスパイラルに襲われる方も非常に多いと感じます。また、足が浮腫む、怠いとの訴えで来院、検査、触診をしてみると心臓疾患が見つかったり、腎機能が弱っていたりと、本当に人間の体は、すべて関連性がある事がわかります。

自分で自分の体を守る為に、日々のセルフケアがとても重要です。

なってしまった病気を治すには、西洋医学に勝るものはありませんが、補完代替医療は西洋医学を助ける素晴らしい存在価値があります。

本講演では、アロマセラピー等補完代替医療を活用した、内科病院での臨床症例や爪とフットケアの重要性、足の大切さ、補完代替医療における世界の事情をわかりやすくお話しさせていただきます。